

小学校 国語科 第5学年

単元名「『綾』といっしょに『たずねびと』を探しに行き、考えたことを伝え合おう」
 ～『たずねびと』（作：朽木 祥 光村図書）～
 （6時間扱い）

単元的主要な学習活動

単元の言語活動：物語に対する思いや考えをスライドにまとめ、友達に伝え合う。

第1時

語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、「綾」の心情が読み取れる表現や描写に着目し、全文を読む。

- ① 既習事項と単元のゴール、本時のめあてと活動内容を確認する。

本文を読み、「綾」の心情が読み取れる部分を見つけよう。

- ② 全文を読み、気になる表現に線を引く。
 - ・主人公「綾」の心情が読み取れる表現や描写を叙述から見つけ、教科書に線を引く。
- ③ 線を引いた叙述を付箋に書き写し、色で分類する。
 - ・共有ノートに付箋機能を使い、線を引いた叙述を付箋に書き写し、色で分類する。

付箋の色分け

綾の行動
や様子

綾の会話
や心内語

心情に関
する情景
描写

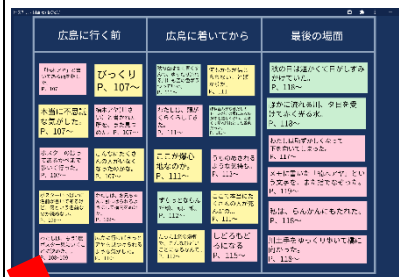
綾が出会
った物や
人

- ・色分けした付箋を、「広島に行く前」「広島に着いてから」「最後の場面」の三つに整理する。

- ④ 本時の振り返りをする。
 - ・共有ノートに用意した振り返りシートに、振り返りを書く。



学習活動① 思考ツールの見本を示しながら、単元を通して行う学習活動を確認する。



学習活動③ 共有ノートを用いてグループのシート上で作業をするので、友達の考えを目にしなが個人作業を進めることができる。



学習活動④ 共有ノートを用いることで、友達の振り返りから視点を学んだり新たな気づきを得たりすることができる。

第2時

物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりするために、叙述と結び付けながら、広島に行く前の「綾」の心情について捉える。

- ① 前時の学習を振り返り、本時のめあてと活動内容を確認する。

叙述をもとに、広島に行く前の「綾」の心情をとらえよう。

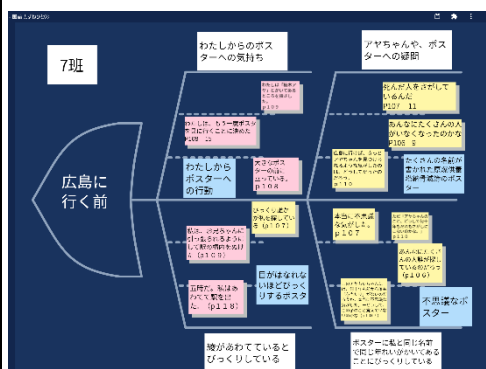
- ② 「綾」の心情について、本文の叙述をもとに話し合い、フィッシュボーンにまとめる。
 - 班ごとに、前時にまとめた付箋を用いて、気になった叙述（付箋に記入したもの）を取り上げながら、「綾」の心情について話し合う。
 - 話し合いながら、共通する付箋をフィッシュボーンに移動し、グループごとにタイトルをつける。
 - 話し合いながら付箋を整理する活動を通して、気になった叙述と「綾」の心情を関連付けて考える。

- ③ 他のグループがまとめたフィッシュボーンと比較し、気になったことを質問する。
 - 共有ノートで他のグループのフィッシュボーンを見ながら自分の班と比較し、取り出した叙述やまとめ方について話し合う。
 - 全体で共有する時間を取り、グループで出た意見を発表する。

- ④ 本時の振り返りをする。
 - 振り返りを共有ノートに記入する。



学習活動② 共有ノートを用いることで、一つの画面で共同編集が可能になる。



学習活動② グループでまとめたフィッシュボーン。他のグループの様子もタブレット上で見ることが可能。



学習活動③ 他のグループのフィッシュボーンを見ながら、話し合う。

第3時 ※学習の流れは第2時に同じ

物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりするために、前時までに読み取った内容や叙述を結び付けながら、広島に着いてからの「綾」の心情について捉える。

- ① 前時の学習を振り返り、本時のめあてと活動内容を確認する。

叙述をもとに、広島に着いてからの「綾」の心情をとらえよう。

- ② 「綾」の心情について、本文の叙述をもとに話し合い、フィッシュボーンにまとめる。
- ・(活動の詳細は第2時に同じ)
 - ・イメージがつかみにくい語や表現は、関連図書やタブレットで調べる。
- ③ 他のグループがまとめたフィッシュボーンと比較し、気になったことを質問する。
- ・共有ノートで他のグループのフィッシュボーンを見ながら自分のグループと比較し、取り出した叙述やまとめ方について話し合う。
 - ・全体で共有する時間を取り、グループで出た意見を発表する。
- ④ 本時の振り返りをする。
- ・振り返りを共有ノートに記入する。



学習活動② この場面は原爆に関する表現が多いので、よりイメージを鮮明にするために本やインターネットを活用。

第4時(本時) 冊子 pp.1-2に掲載

物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりするために、前時までに読み取った内容や叙述を結び付けながら、最後の場面の「綾」の心情について捉える。

- ① 前時を振り返り、本時のめあてと学習内容を確認する。

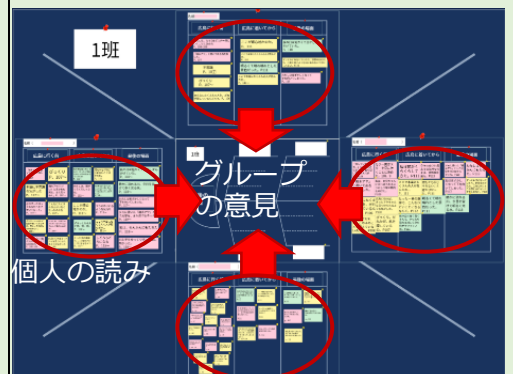
叙述をもとに、最後の場面での「綾」の心情をとらえよう。

- ・前時までにまとめたフィッシュボーンを大型テレビで確認することで、各グループの「綾」の心情に対する読みを共有し、本時のめあてにつなげる。

- ② 「綾」の心情について話し合いフィッシュボーンにまとめる。
- ・第2～3時までの話し合いの過程を振り返り、物語の場面のつながりを意識して、本時の話し合いを行う。



学習活動① 前時までの各グループのまとめを紹介する。



学習活動① 最後の場面での綾の心情を、各自が前時までにあった付箋や教科書の叙述を基に話し合い、フィッシュボーンにまとめる。

(話し合いの様子)



「らんかんにもたれた」ってショックを受けた様子が伝わってくるね。

「もたれた」ってどんな様子かな。タブレットで調べてみるね。

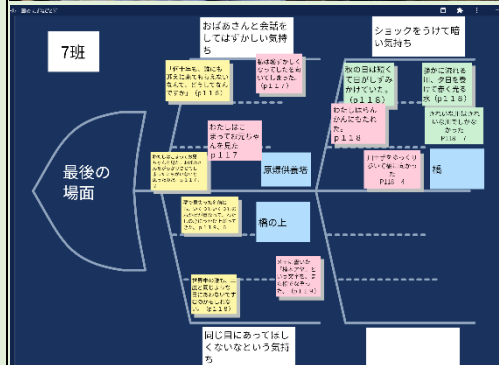


橋から見える景色も、綾のショックを受けて暗い気持ちを表していると思う。

- ③ 他のグループと比較し、気になったことを質問する。
 - ・タブレット上にある他のグループのまとめを自由に見て、気になったことについて質問する。
 - ・質問されたグループの意見を、タブレットや電子黒板で確認し、全体で共有する。
- ④ 本時のまとめをする。
 - ・「叙述をつなぎ合わせると、物語の全体像が具体的に想像できる。」ということを確認する。
- ⑤ 本時の学習を振り返る。
 - ・振り返りを共有ノートに記入する。



学習活動② 絵本の挿絵を示しながら、自分が読み取った心情の根拠にする。



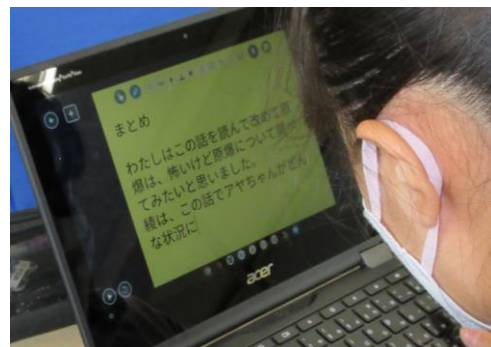
学習活動③ 各グループのフィッシュボーンをタブレット上で閲覧し、自分のグループと比較しながら気になったことを質問する。

第5時

物語を読んで理解したことに基づいて、自分の思いや考えの変化をまとめるために、これまでの学習内容と振り返りを見直し、スライドを作成する。

- ① 前時の学習を振り返り、本時のめあてと活動内容の確認をする。

今までの学習を振り返り、物語に対しての自分の思いや考えの変化をまとめる。



学習活動② 学習内容を振り返り、新しく気付いたことは黄色い付箋で追加する。

② 物語を読んで理解したことに基づいて、自分の思いや考えの変化をまとめる。

- 「たずねびと ふりかえり」のカードをコピーして、新しいノートに貼り付け、次の交流で使うスライドを作成する。
- 単元を通して話し合ってきたフィッシュボーンを見直し、今までの学習を発表資料作成に生かしていく。

③ 本時の学習を振り返る。

- 振り返りを共有ノートに記入する。

第6時

物語に対する自分の考えを広げたり、新しい着眼点を見付けたりするために、自分の思いや考えの変化について友達と伝え合う。

① 前時の学習を振り返り、本時のめあてと活動内容の確認をする。

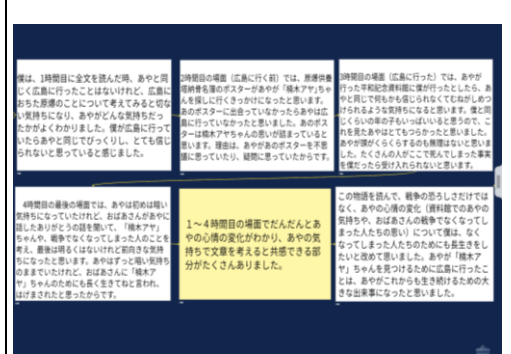
物語に対する思いや考えを伝え合い、自分の考えを広げ、新しい着眼点を見付けよう。

② 物語に対する自分の思いや考えの変化について、各グループで伝え合う。

- 作成した発表資料を用いて、タブレットの画面を示しながら、一人5分程度で発表し、グループ内で意見を伝え合う。
- 前時までと違うグループを組んで伝え合い、物語に対する自分の考えを広げたり、新しい着眼点を見付けたりする。

③ 本時の学習と単元全体を振り返る。

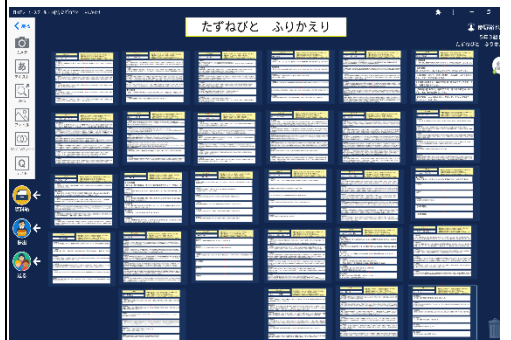
- 振り返りを記入した後は、一人一人の意見や感想を個人端末で自由に共有する。



学習活動② 振り返りのポートフォリオを活用し、スライドを完成させる。



学習活動② グループごとに、タブレットを見せながら、物語に対する意見や感想を伝え合う。



学習活動③ 全員の振り返りを自由に共有することで、様々な意見や感想に触れることができる。